環境パートナーシップちば だより

―つながれ　ひろがれ―

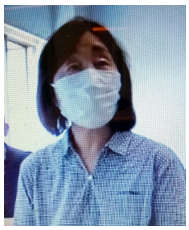
第１３９号
特定非営利活動法人
環境パートナーシップちば

℡：090-8116-4633
E-mail：info@kanpachiba.com
https://kanpachiba.com/

【特定非営利活動法人環境パートナーシップちば第４回通常総会報告】

SDGs・ESD への取り組みを進めましょう！

代表理事　桑波田　和子



五月晴れの空を見ると、すがすがしい気分になります。with コロナですが、今年の第４回通常総会は、オンラインと会場をつなぐハイブリットで開催いたします。会員の皆様と少しでもお互いを見ることができ、うれしく思います。

本日の総会では、2020 年度の事業などを振り返り、2021 年度の事業の承認をいただき次第、活動を展開してまいります。2020 年度は、新型コロナウィルス感染防止のため、活動の中止や延期などで対応し事業を進めてきました。「エコメッセ 2020in ちば」は、全てをオンラインで開催し、地球環境基金助成事業でも、「新しい生活様式」を取り入れ、安全を優先しながら活動しました。

直接お会いして会話ができることの大切さを再認識し、今できる方法を模索しながら進めてきました。オンラインの活用など新たに学び体験することができたことは、コロナ禍の中のメリットと思えるようになりました。

気候変動、持続可能な社会の担い手の重要性など、2030 年を目標にしている SDGs への取り組みもますます活発に進めていく時です。

当会の 2021 年度事業は、３年間継続した「SDGs を達成するための ESD 人材育成事業」をさらに発展させた、「SDGs・ESD をひろげるための“ちば”拠点づくり」を主に、エコメッセ、環境講座など、多様な主体との連携・協働を基に実施していきます。

皆さまが安全第一で活躍されることを祈念しております。併せて皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

来賓挨拶

千葉県環境生活部循環型社会推進課 副課長　針谷 謙一

本日は、総会にお招きいただきありがとうございます。

「環境パートナーシップちば」の皆様におかれましては、日頃、地域の環境保全活動の推進や多様な主体との連携など、本県の環境行政の推進に多方面から御協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。また、エコメッセちばの実行委員会事務局として、長年多大なる御尽力をいただいており、改めて敬意と感謝を申し上げます。

さて、環境学習等に関する法改正や、SDGs を含む「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の採択など、環境学習等を取り巻く状況の変化を踏まえ、県では今年３月に新たに「千葉県環境学習等行動計画」を策定しました。本計画では「ちばの未来を創る『行動する人づくり』～みんなでつくる持続可能な千葉～」を目指し、「SDGs や ESD の視点を取り入れる」「みんなが連携・協働し地域社会全体で取り組む」などの視点に立ち、環境学習等の取組を推進していくこととしています。

気候変動、海洋プラスチックごみや食品ロスなどの環境問題を解決し、持続可能な社会を実現していくためには、社会のあらゆる主体が相互に連携・協働し取り組むことが必要であり、「環境パートナーシップちば」の皆様の取組は大変重要です。県としましても、様々な主体との協働を進め、施策を推進していきたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

結びに、「環境パートナーシップちば」のますますの御発展と、皆様の御健勝を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

来賓挨拶

一般財団法人 千葉県環境財団　小笠原 千幸

ただいまご紹介いただきました、千葉県環境財団の小笠原と申します。本日は総会にお招きいただき誠にありがとうございます。

「環境パートナーシップちば」の皆様におかれましては、地域の環境保全活動や循環型社会づくり、地球温暖化対策など広範囲に活動されていることに対しまして、あらためて敬意を表する次第です。

当財団は、環境行政の補完的役割を担うことを目的として設立されて以来、環境保全に係る取り組みへの支援、環境調査・分析等を通し、各種の環境関係事業を実施してきたところでございます。令和３年度についても、環境保全に係る取組みへの支援については、前年度に引続き、「千葉県地球温暖化防止活動推進センター」として広報・啓発、情報提供活動等を行う他、「エコアクション２１特別基礎地域事務局」として、中小事業者等の認証・登録への支援を、また、「ちば環境再生基金事業」については、基金を活用しての環境保全活動に対する各種の助成事業を実施してまいります。今後とも当財団へのご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、新型コロナウィルスが全国に拡大しているところでございます。本年の「環境パートナーシップちば」の皆様の活動についても、昨年に引き続きいろいろ工夫しながらの実施になると思われますが、感染や健康に十分留意され、皆様どうしの助け合い、ご協力のもと、成果を上げていただければと期待を寄せているところでございます。

結びに、「環境パートナーシップちば」のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念して、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

総会報告　環パちばの活性化のために

2021 年５月23日に特定非営利活動法人環境パートナーシップちばの第４回（2021 年度）通常総会がオンラインで開催されました。総会は定足数を満たして成立し、議案はすべて承認されました。（議事の詳細は議案書をご覧ください。）

今年度は役員改選の年でしたので、川島謙治理事が退任され、谷合哲行さん、廣田由紀江さん、中村明子さんの３名が理事となりました。また、総会後の理事会において代表理事を互選で選出し、桑波田和子さんに引き続き代表理事を務めていただくことになりました。川島さん、長い間ありがとうございました。また、谷合さん、廣田さん、中村さん、どうぞよろしくお願いいたします。

総会準備をしている中で、環パの活動が会員のみなさまにどのくらい届いているのだろうか、という話になりました。そして、環パの活動を会員のみなさまにもっとお伝えし、会員のみなさまからも、もっと環パの活動を身近に感じていただき、気軽に意見なども出していただけるようにしたい（しなければ）ということになりました。そのために、次の２つを始めることにいたします。

１つは、環パちばだよりを以前のように紙に印刷して、全会員の方に毎号お届けする方法に変更します。これまでは、「環パ通信」（メルマガ）で発行のお知らせをして、環パの HP に掲載した「だより」を（ダウンロードして印刷して）お読みいただく形だったのですが、これからはすぐお手に取っていただけるようになります。

２つ目は、会員同士が実際に顔を合わせ、交流や情報交換をしやすくするために、「定例会」（仮称）を年に３回開催しようという計画です。今年度はとりあえず、

①5/23（日）総会　②9/9（木）18:00～20:00
③1/13（木）13:00～15:00　の３回予定しました。来年度以降は、今年度の試行を踏まえて、できるだけたくさんの方に参加していただける時間帯で行いたいと考えています。改めてご案内いたしますので、ぜひお気軽にご参加ください。

（文責：小倉 久子）

SDGｓ・ESD をひろげるための“ちば”拠点づくり事業のお知らせ
事業開催募集の際は 是非ご参加を！

事業事務局：（特非）環境パートナーシップちば

事業の背景

SDGs を達成するための ESD 地域リーダー担い手育成事業を、地球環境基金の助成を受け千葉県内で３年間実施しました。成果として 46 名の ESD 地域リーダーが誕生し、今後も活動していきます。
また、地域リーダーが活動を展開する場（プラットホーム）づくりでは、約 30 団体が参加し、SDGs を達成するための多様なニーズに対応するプラットホームづくりを目指しています。

以上の実績を活用し、今後、SDGs・ESD への取り組みを多様な主体と協働して広げるために、地域性の異なる『県北』と『県南』、それらをつなぐ『コア』と合わせて３か所に「SDGs・ESD をひろげるための“ちば”拠点」を作ります。

事業の目的

環境保全は地域づくりと密接に関わりますが、まちづくり及び地域おこしを担う新規の事業者との連携の場がありません。また、SDGs・ESD の認知度が高くない、SDGs 達成するための多様な主体が相互の活動を知り共有する場がない、活動団体の高齢化、新規団体の活動を知る機会が少ない、環境保全活動・環境学習・学校や企業・行政との協働取り組みが広がらない等の様々な課題を解決するため、実施します。

事業の内容　（2021 年～2023 年）

■１年目：主な活動拠点：**千葉県南部地域**

活動１「ひろげる場づくり」

千葉県南部地域に「SDGs・ESD をひろげるための**“ちば”南拠点**」をつくります。

活動２「ひろげる人づくり」

・SDGs ちばユース活動発表会開催。
・学校との連携事業開催。
・ESD の視点を入れた環境学習プログラムの活用。
・ESD プログラム体験会実施。

活動３ SDGs・ESD 広報活動

セミナー・フォーラム・体験会の周知やニュースレター・HP の作成

■2 年目：主な活動拠点：**千葉県北部地域**

・千葉県北部地域に「SDGs・ESD をひろげるための**“ちば”北拠点**」を作ります。
・事業内容は 1 年目の 活動 1、活動２、活動３ の実績を活用して実施します。

■3 年目：主な活動拠点：**千葉県内中央部**

・1 年目・2 年目でできた地域拠点をつなぐ「SDGs・ESD をひろげるための“ちば”コア拠点」を作ります。
・事業内容は 活動 1、活動２、活動３ の２年間の実績を活用して実施します。

この事業は、地球環境基金の助成を受け実施しています

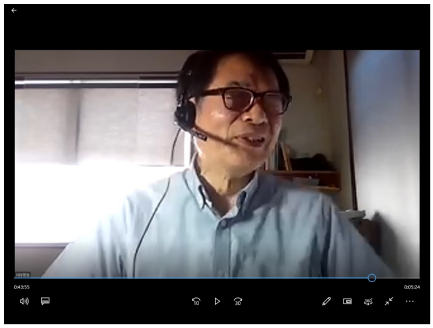
第 72 回パートナーシップエコサロン報告

令和３年度１回目のエコサロンは、総会の後に公益財団法人日本環境協会・ESD 活動推進センターの川村研治さんをお迎えし、「ESD/SDGs の歴史と現状、今後に向けて」というテーマで総会会場と ZOOM を結んで開催されました。

最近、新聞やテレビでも取り上げられることの多い SDGs。耳に馴染んで、言葉にする人も多くなったと思います。今回の川村さんのお話しされた内容は、SDGs が誕生するまでの環境と開発の国や歴史を振りかえり、「こういう流れを経て SDGs にきたんだなー」という「環境教育概論」でした。改めて聞くことで、初心にかえる気持ちになりました。

SDGs は 2015 年に採択でも、その基本的な考え方は 1972 年の「国連環境会議」で採択された「人間環境宣言」から始まり、1987 年のブルトラント委員会や 1992 年の地球サミット「アジェンダ 21」につながります。地方公共団体の多くが策定したローカルアジェンダ 21 は、その後失速してしまったけれど、SDGs が同じ轍を踏まないためにもふりかえることが大切だと説明がありました。気候変動をトピックに、地球サミット以降、パリ協定までの変化の流れは納得でした。

また、「今後の展開に向けて」と題し、環境パートナーシップちばが期待される役割は 「環境をテーマに地域の底力を強化すること」！！ ５年前に群馬県の小学校で行った「ESD 環境教育プログラム実証事業」を、今度は学校でなく地域でやろうとしているそうです。千葉でも行ったその事業には ELco の会や当会も関わっていました。ESD/SDGs でのつながりを活かし、「次年度は千葉でもできたらいいですね」と川村さんよりお声をかけていただきました。川村さん、どうもありがとうございました。　（文責：廣田 由紀江）



公益財団法人日本環境協会・
ESD 活動推進センターの川村研治さん

第 26 回エコメッセ 2021 in ちばの出展団体募集を始めました

エコメッセちば実行委員会広報・交流部会部
谷合 哲行

つながれ、ひろがれ、エコメッセ「千葉県最大の環境活動見本市」をもとに市民団体、企業、大学、行政など社会の様々な主体が参加・出展し、環境について子どもから大人まで楽しく学べる「エコメッセ 2021 in ちば」を開催します。

今年のテーマは

「Prosperity：笑顔あふれる未来を創ろう」

です。

2021 年は、新型コロナウィルス感染症（COVID-19）対策を講じて、利用時間や人数の制限をさせていただいて、会場出展とオンライン出展の２つの出展形態で出展団体を募集します。

【会場出展】

会場：幕張メッセ国際会議場コンベンションホール
開催日：2021 年 10 月 17 日(日)12:00～16:00
出展団体募集数：約 40 団体
募集期間：４月 15 日～７月 17 日
出展料：（いずれも消費税込み）
企業・行政-１区画 20,000 円
市民団体・大学-１区画 8,000 円
高校・学生団体（１区画は無料，２区画目からは 8,000 円）

【オンライン出展】

昨年同様、各団体の取り組みや活動紹介の動画（MP４形式、３分単位で作成）をエコメッセ公式 HP 上で 10 月 16 日から１年間公開します。
出展団体募集数：100 団体
出展料：（いずれも消費税込み）
企業、行政 10,000 円/ ３分
市民団体、大学　4,000 円/ ３ 分
高校・大学生団体は無料

今年度の新たな試みとして、希望する出展団体に、オンライン(zoom)を利用して参加者と双方向的に交流する場を提供します。この企画は 10 月 16 日(土)，17 日(日)の 10:00～16:00 に行い、希望する団体はメインスタジオとして幕張メッセ国際会議場 205 室をご利用いただけます。

COVID-19 感染拡大の影響により、会場開催が中止になることもあります。詳細はエコメッセの HP をご参照いただき、申し込みフォームからお申し込みください。

URL：https://www.ecomesse.com/

「SDGs」で思うこと

環境パートナーシップちば　萩原耕作

掲題の文字を初めて目にしたのは４年前の 12 月、私が在籍している環境パートナーシップちばの出来事でした。団体の歴史がちょうど 20 年の節目に入ったことを期してこの機会に法人化検討の提案があり、「設立趣意書」を纏めるとき、その表記方法について各委員から「SDGs」やら「ESD」という外来語使用の提案がなされました。この外来語をそのまま条文に入れても難解だから、まず日本語で記載してその補足として文章の後に括弧書きで、（SDGs）または（ESD）と表示して掲載することで、全員の合意形成に至ったという経緯がありました。外来語の苦手の私にとって、これが「気づき」という体験でした。下の数字を見ればどうも私だけではなさそうですが。

- 聞いたことがある　　92%（49%）
- よく知っている　　53%（8%）

上記の数字は、世界経済フォーラムが 2019 年に発表した、世界 28 か国で実施した SDGs の認知度調査結果です。数字はトップのトルコを表し、括弧内は日本の数字です。（日本の順位は最下位）

倒木処理作業

そもそも、この外来語「SDGs」と「ESD」なるものは今日でこそ馴染みの言葉になって、この活動が、企業・行政においては自社イメージを上げるためブランドマーケティングの有力な手段として活用注目されています。最近では、３ 月の日本経済新聞紙面で横浜市は次のような全面広告を行いました。

“横浜市が取り組んでいる「Y - SDGs」という認証制度について金融機関と協働により企業の SDGs の取組を後押しする”という内容について、市長、金融機関トップの顔写真入で、SDGs 達成に向けた思いや今後のビジョンについて意見を交わした広告が掲載されていました。

また「ESD」についても同じころ夕刊トップ面に、「育て！SDGs ネーティブ」と大見出しの記事が掲載されました。文部科学省が先に公示した新たな学習指導要領の前文にも「持続可能な社会の創り手」という文言が加わって SDGs 教育に力を入れていく方針が示され「ESD」の考え方が取り入れられています。

私は、これからは、これらを引き継ぐ世代は 20 代前半から 30 代後半のミレニアム世代が主力となるのではないかと感じています。

そして、私はというと、既に耐用年数を経過した高齢者ですが、地元の里山で山師同様の作業や、畑作業に取り組む傍ら、前掲の NPO 法人事務局の末席で細々と帳簿の整理に取り組んでおります。とうに忘れかけている会計処方と税務事務は、今日になって陽の目を見たように感じており、これぞ SDGs を取組んだボランティアの社会貢献と捉えながら、自問自答の繰り返しです。

私が環境関係のボランティア活動に足を踏み入れたキッカケは、定年という節目を迎え、バブル享受時代の罪滅ぼしと、幼少時代の田園景観がノスタルジーとして沸き起こったことが大きな要因で、環境保全活動を使命と感じて踏み込んだものでありませんし、もちろん SDGs の文字もありません。

SDGs の基本理念は「誰一人取り残さない」ですが、私は取り残されないよう皆さんにしがみついていなければと焦る気持ちの半面、自分は長い間人間生活をしてきたな～と思っていた矢先に、下記の新聞コラム欄と出会いました。

「地球の歴史を１カ月のカレンダーに置きなおすと現人類は、その最終日の最後の５分間に誕生したに過ぎない。この事実を謙虚に捉えることが SDGs の原点ではないだろうか」

ビオトープ整備作業

オンラインで開催！　第 73 回 パートナーシップエコサロン

千葉県環境学習等行動計画をお聞きし、対話しませんか

千葉県は、平成 19 年に改定した千葉県環境学習基本方針に基づき、環境学習等の推進に取り組んできたところですが、環境学習等を取り巻く状況の変化を踏まえ、環境問題を自分ごととして捉え、問題解決に向けて行動する人づくりを一層進めるため、新たに「千葉県環境学習等行動計画」を策定しました。計画期間は 2030 年です。（県 HP より）

SDGs を達成するためにも教育（環境学習）は多様なターゲットに密接につながります。千葉県の計画をお聞きして、日頃環境学習等関わっている方々と気さくに対話するエコサロンを開催します

2021 年６月 15 日(火) 20：00～21：30

会　場： オンライン開催（Zoom）
定　員： 30 名
参 加費： 無料
主　催： 特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば
申込締め切り日：６月 10 日（木）
申し込み先：info@kanpachiba.com までご連絡ください。
※お申し込み受付後に、Zoom の URL をお知らせいたします。

≪プログラム≫

20：00～20：40　**話題**　「千葉県環境学習等行動計画」
提供者　千葉県循環型社会推進課　藤田晴樹さん

20：40～21：30　**意見交流会**

運営会議報告

４月度運営会議
４月８日（火）15:00～18:00
会場：千葉市民活動支援センター会議室
【報告】・地球環境基金事業報告　他
【協議】・第４回総会準備（事業計画、当日役割）
・今後の環パの運営について　他

５月度運営会議
５月１３日（木）15:00～17:30
会場：千葉市民活動支援センター会議室
【報告】・第１回理事会（４月 24 日）
・地球環境基金経過報告　他
【協議】・総会準備　・第 73 回エコサロン
・2021 年度の執行体制について　他

「特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば」

環境活動の推進と充実を図るため、市民・団体・企業・行政・学校とのパートナーシップのもと、「持続可能な開発に向けた目標(SDGs)」や「持続可能な開発のための教育(ESD)」の視点を意識して、さらなる持続可能な社会の実現をめざすことを目的とする。

お問い合わせ
事務局：〒262-0006　千葉市花見川区横戸台 21-13　特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば
Tel　：　090-8116-4633E-mail：info@kanpachiba.com
https://kanpachiba.com/
※会費や会員申し込みなどの情報は上記 ＨＰでご確認ください。